

医療提供体制の確保について

1 趣旨

県内の患者の状況や国の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の提言(3月19日)等を踏まえ、重症化対策を中心とした医療提供体制を構築するとともに、さらなる患者の増加に備えるために必要な準備等を行ない、県内の医療提供体制の確保を図っていく。

2 当面の医療提供体制

区分	基本方針	備考
入院体制	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症指定医療機関(54床)を中心に重症患者(酸素投与が必要、入院が必要な合併症を併発等)に対応 ・一定の感染症予防策を講じたうえで必要な病床を確保【国5,000床×5%=250床】 ・患者の状況等を踏まえ、さらなる病床の確保に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標：254床 ○現状：246床
外来体制	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国者・接触者外来で対応しており、さらに協力を求めていく 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標：40施設 ○現状：31施設

【圏域別受入可能病床数】

神戸	阪神	東播磨	北播磨	播磨姫路	但馬	丹波	淡路	合計
46	94	50	8	19	8	6	15	246

3 今後の状況の進展に応じて必要となる取組等

(1) 入院体制

課題	取組状況等
<ul style="list-style-type: none"> ・患者の重症度合に応じた迅速な入院調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス入院コーディネートセンター(CCC-hyogo)の設置(3月19日)・運営
<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者の増加により、重症患者の入院医療の提供に支障が生じる可能性への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽症者等の自宅療養の検討(資料5)
<ul style="list-style-type: none"> ・一般の救急患者等の他病院での受入調整等によるコロナ感染症重症患者等の病床確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域災害救急医療情報システム(兵庫県EMIS)や地域医療情報ネット等を活用した調整等を検討

(2) 外来体制

課題	取組状況等
<ul style="list-style-type: none"> ・外来患者の増加により、帰国者・接触者外来での医療提供に支障が生じる場合を想定した 	<ul style="list-style-type: none"> ・テント等を活用した臨時外来(20カ所)の設置の準備 ・必要な感染症予防策を講じた一般医療機関での外来診療の検討